

社会資本総合整備計画

中間評価書

計画の名称	24 新発田市ICアクセス道路整備		
計画の期間	平成25年度 ~ 平成28年度 (4年間)	交付対象	新発田市

計画の目標

地場産品の有効活用や新技術・新商品の開発支援及び雇用促進等を目指して積極的に企業誘致を推進していくため、現在、食品工業団地等の拡大を進めており、計画している工業団地も含め近郊の幹線道路とのアクセスを強化し、交通や物流の利便性を向上させる。  
 また、新発田駅東地区の宅地分譲や大型スーパーの出店が進んでいることから、駅東口を中心とした駅東地区のコミュニティーバスの新設による利便性の向上や、首都圏・外国人等月岡温泉の観光人口が増加しているため、当該路線の道路環境の整備により、新発田駅東口からのアクセスの向上を図る。

計画の成果目標 (定量的指標)

これらの道路を整備することにより、交通や物流の利便性を向上させ、企業誘致を促進し、工業団地の販売敷地面積を100%とする。  
 国道7号における大型車輛混入率を低減させる。  
 東口を利用する方 (月岡温泉旅館組合) を対象とした交通アクセス (時間短縮) に関する満足度調査 (アンケート)

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H28末)	
(企業誘致の進捗率) = (販売敷地面積) / (全体敷地面積) × 100%	0%	50%	100%	
(大型混入率) = (通過大型車両) / (全体交通量) × 100%	12.7%	11.5%	10.0%	
(満足度) = (道路整備後に満足した組合員数) / (月岡温泉旅館組合全体数) × 100% 月岡温泉旅館組合を対象とした満足度調査 (アンケート)	—	—	80%	

中間評価

○中間評価の実施体制、実施時期	
中間評価の実施体制	中間評価の実施時期
新発田市において評価を実施	平成28年度
	公表の方法
	新発田市ホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

A 道路事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					備考
											H25	H26	H27	H28	H29	
24-A1	道路	一般	新発田市	直接	—	市町村道	改築	(1) 豊町荒町線	道路改良 L=1,307m	新発田市						
24-A2	道路	一般	新発田市	直接	—	市町村道	改築	(1) 五十公野バイパス線	バイパス L=1,890m	新発田市						
合計																

B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					備考
										H25	H26	H27	H28	H29	
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					備考
										H25	H26	H27	H28	H29	
合計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		五十公野バイパス線が供用開始されたことにより、近郊の幹線道路とのアクセスが強化され、交通や物流の利便性が向上された。				
II 定量的指標の達成状況	指標① (企業誘致の進捗率)	中間目標値	50%	目標値と実績値に 差が出た要因	食品工業団地の造成が遅延したため目標の達成には至らなかったが、企業誘致については進捗が図られている。	
		中間実績値	0%			
	指標② (大型混入率)	中間目標値	11.5%	目標値と実績値に 差が出た要因		新発田市の内環状線を担う豊町荒町線が未供用であることから目標値には達しなかったが、供用開始後は大型混入率の低減が図られる見込みである。
		中間実績値	12.8%			
	指標③ (満足度調査)	中間目標値	—	目標値と実績値に 差が出た要因		
		中間実績値	—			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)						
3. 特記事項 (今後の方針等)						
未供用である豊町荒町線が供用開始されれば、それぞれの定量的指標について効果が発現される見込みであることから、事後評価時に評価を行う。						